



朝焼けの富士を望む



2025年1月18日 塔ノ岳山頂より撮影

2月の定例集会は、2月4日(火)19:00～
@我孫子北近隣センター並木本館

定例山行計画

ご案内



(仮) 定例山行計画		谷川岳山麓 (マチガ沢) (850~900m付近)		リーダー: 白崎哲史 グレード: 1C
月 日	2025年3月23日(日) 日帰り			
山 域	谷川連峰	日の出日の入りなど	日の出 5:40	
目 的	雪山でのアイゼンワーク、ピッケルワーク (滑落停止) とロープでの確保訓練			
費 用	5,000円弱	交通機関	マイカー	
行 程	我孫子 5:30 → 谷川岳ロープウェイ駐車場 9:00 ⇒ マチガ沢の訓練場所 10:00 / 訓練 10:30 - 14:00 (途中昼食) ⇒ 谷川岳ロープウェイ駐車場 15:00 → (日帰り温泉) → 我 孫子 20:00 < 訓練時間: 3時間30分 >			
個人装備	ハーネス等のロープワーク装備一式			
メ モ	以下の訓練を想定しています。 • 雪上歩行技術の確認 (アイゼンワーク) • ピッケルの活用法と滑落停止訓練 (ピッケルワーク) • ロープでの確保が必要な斜面での登攀・下降 (腰絡み確保法の実践・習得) • 雪山での懸垂下降用支点の構築			

(仮) 定例山行計画 新人歓迎会山行		雪入山 (345m)		リーダー:秋山・小島 グレード:1A
月 日	2025年4月6日(日) 日帰り			
山 域	筑波山城	日の出日の入りなど	出5時19分/18時05分入り	
目 的	新人歓迎会			
費 用	約7,000円 (BBQ代込み)	交通機関	バス	
集 合	我孫子郵便局前 6:10			
行 程	<p>我孫子郵便局前 6:15→朝日峠展望公園駐車場 8:00/8:30⇒いやしの里⇒剣が峰広場 9:10/9:15⇒(雪入山、パラグライダー跡)⇒秋葉峠⇒9:35(黒文字)浅間山 9:50⇒林道 10:50⇒ふれあいの里公園⇒青年の家 12:00/30 (BBQ 懇親会) 14:30/15:15→我孫子駅前郵便局前 <歩行時間:約4時間></p> <p>※雨天時は国立科学博物館筑波実験植物園見学後、青年の家にてBBQを行います。 我孫子駅前郵便局前 7:15→国立科学博物館筑波実験植物園 9:00/11:00→中央青年の家 12:00/ (BBQ 懇親会) 15:15→我孫子駅前郵便局前 17:15</p>			
個人装備	一般登山装備			
メ モ	<p>岳人あびこの年間行事ー新人歓迎会です。奮ってご参加下さい。 雪入山の名の由来は春になるなり、裏山にヤマザクラが咲くと雪が積もったようになるので、(分県登山ガイド茨城県より)知る人ぞ知る桜の名所です。 会費の集金は3月2日(日)総会時に集金致します。 キャンセル料(バス)について。14日前～8日前 20% : 7日前～2日前 30% : 前日 50% : 運行後 100%をいただきます。</p>			

定例山行報告

定例山行報告		足利行道山～両崖山 (442m～251m)		リーダー:石塚 グレード:1A
月 日	2025年1月11(土) 日帰り			
山 域	足利市	日の出日の入りなど	日の入り:約16:40	
目 的	ひだまり山行			
費 用	約2,500円	交通機関	東武電車 あしバスアッシー	
行 程	柏駅 5:51→春日部 6:29/6:43→東武動物公園 6:50/6:57→館林 7:33/7:35→足利市 7:54/8:13 バス→行道山バス停 8:52⇒浄因寺 9:30⇒行道山 10:30⇒しし岩 10:50⇒大岩山(剣が峰) 11:00⇒天空テラス 11:10(昼食)/11:50⇒毘沙門天⇒両崖山 13:30⇒織姫神社 14:40/14:50 ⇒足利市 15:20/15:37→館林→久喜 16:09/16:13→春日部 16:24/16:39→柏 17:22 <歩行時間:4時間30分 行動時間:約6時間>			
ルート 状 況	・道標もしっかりあるが行道山から下り両崖山へと向かうルートに沢山の分岐があり、地図をしっかりと確認する必要がある。			
参加者	A班:石塚(L) 小島洋(SL) 田村(旗) 鈴木真 飯塚(点呼) 村越(記録) 会友:飯合 B班:佐藤清(L) 外崎(SL) 鈴木利(医療)(やまなみ) 森岡(点呼) 一氏 北角(写真) 矢野貞 男 3名、女 11名 計 14名			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の計画では12日(日)の予定でしたが、天気が良くない予報なので前倒して11日(土)に変更しました。その為参加できない方が出てしまいました。 ・ガイドブックによれば浄因寺は関東の高野山とも呼ばれていた古い寺で栃木県の名勝に指定されている所ですが、かなり荒れていてひっそりとしていました。がそばの切り立った断崖の上に清心亭、葛飾北斎が版画にした所がもみじの木々の間から見られました。 ・行道山山頂からは、真っ白な浅間山など360度の展望が楽しめました。又行程の木々の間からの日光の山々や富士山を見ながら歩く事が出来ました。 ・天空テラスは最近できたらしく(3年前位?佐藤清弘さんの話)広々としていて、見晴らしもすばらしく、トイレ等も完備しています。 ・両崖山より鏡山までは何回かアップダウンの繰り返しや岩場の下りがあり注意して下りました。又両崖山は2020年に火災があり両脇にはいまだに黒く焼けこがれた木々が沢山見られました。 ・織姫公園から織姫神社までの道はつつじの木々がトンネルになっていて、その頃も又いいだろうと思います。 ・織姫神社は、織物の町足利の守護神ですが、又縁結びの神社らしく沢山の参拝者がおりました。 ・織姫神社から東武足利市駅に向かう渡良瀬川にかかる橋が今架け替えの大工事中の為、仮に作られた橋を回らなければならなかった。結構遠回りになった。11月に来た時は自転車と歩行者は通れたのですが。 			



行道山山頂にて



両崖山山頂足利城址跡にて

浄因寺の山門



葛飾北斎の版画 清心亭



寝釈迦像



富士山



織姫神社にて

定例山行計画		塔ノ岳 ～ 丹沢山 (1450.9m～1587.1m)		リーダー:高橋芳 グレード:2B
月 日	2025年 1月17日(金)～18日(土) 山小屋1泊			
山 域	丹沢	日の出日の入りなど	日の出6:49 日の入り16:54	
目 的	雪の丹沢を歩き夜景・霧氷を楽しむ 富士山の展望			
費 用	約11,000円 自炊8,000円	交通機関	JR/小田急・バス	
行 程	1 日目	我孫子5:42/柏46→日暮里6:12/18→新宿6:40/51→渋沢8:15/28→大倉8:45/9:00→大観峰→堀山の家11:50/12:00→花立山荘13:03/14:00→塔ノ岳 尊仏山荘14:45(宿泊) ＜歩行時間:約4時間＞行動時間 約5時間45分		
	2 日目	尊仏山荘7:10→竜が馬場8:15/20→丹沢山8:35/9:05→竜が馬場9:20/25→尊仏山荘10:17/11:00→堀山の家12:05/25→大倉バス停14:10/38→渋沢14:55→代々木上原→柏・我孫子 ＜歩行時間:約6時間＞行動時間 約7時間		
ル ー ト 状 況	丹沢のバカ尾根と言われるようにひたすら上り、ひたすら下った。堀山の家からはきつい階段歩きだが登山道は整備されている。早朝は霜が降り、滑らないように慎重に下った。			
参 加 者	L 高橋芳 SL 小林 講師 千葉 会計 山田 記録 北門 カメラ 藤崎(やまなみ) 田嶋 天気 秋山 渉外 小山 男1名、女8名 計9名			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> * 1日目は午後から曇り富士の絶景は見られなかったが、夜景は素晴らしかった。2日目の朝暗い中での富士山と月のコントラストが素晴らしく、7:00頃、日の出と共に絶景の富士に歓声が上がった。目的の霧氷も楽しむことができ何とか目的は達成できた。 * 塔ノ岳の尊仏山荘は私の好きな小屋で下のストーブのお陰で暖かく寝ることができた。管理人さんや小屋で働く人たちも感じが良い。今回2名は自炊で食料を持参された。夜と朝、秋山珈琲店の開店で贅沢で至福の時間を過ごすことができた。 * 毎年のように丹沢に来ているが、今年の私は年のせいか登りがきつかったが、同行の皆さんはとても元気にさっそうと歩いていた。塔ノ岳直下で転倒の為、左腕を骨折というアクシデントが起きたが1日目は小屋で様子を見て翌日、自力で下山することができた。2日目塔ノ岳から下山組と丹沢山往復組に分かれて行動した。 * 富士山を横に見ながらの下山道はなかなか趣があり、何度来ても楽しむことができる。 * 今回は教育研修の実技講習を兼ねたが、テーマは1時間300mの6メッツで登ることとした。 <p>その他、足がつった時の対応、事故発生時の応急処置と一刻も早く医療機関につなぐことの大切さを事例として学び事例となった。小屋の方から渋沢駅前の整形外科を紹介され、助けていただいた。傷病者にはしばらく生活上のご苦勞がかり心よりお見舞い申し上げます。</p>			



塔ノ岳山頂より夜景



朝焼けの富士山(塔ノ岳山頂より)



塔ノ岳山頂にて



霧氷



丹沢山山頂と富士山

準定例山行計画		赤 岳 (2,899m)		リーダー:白崎 グレード:3D
月 日	2025年1月17日(金)～18日(土) 1泊2日			
山 域	八ヶ岳	地形図 (又は日の出日の入り)	日の出 6:49	
目 的	厳冬期の赤岳に登る			
費 用	12,000～23,000円	交通機関	マイカー	
行 程	1 日 目	我孫子・栢 6:15 → 赤岳山荘 11:20 / 11:40 → 赤岳鉱泉 13:50 (宿泊) (歩行時間 約2時間)		
	2 日 目	赤岳鉱泉 7:30 → 行者小屋 8:11 / 8:28 (文三郎尾根) → 文三郎尾根分岐 9:52 → 赤岳山頂 10:34 / 10:44 → 赤岳展望荘 (休憩/地蔵尾根) 11:10 / 11:36 → 行者小屋 12:20 → 赤岳鉱泉 13:02 / 14:25 → 赤岳山荘 15:53 / 16:11 → 栢 22:15 (歩行時間 約7時間00分)		
参加者	白崎哲史 (L・カメラ)、細谷秀次 (SL)、土田義二 (会計・やまなみ)、鈴木秀忠 (記録・カメラ) 男性4名			
ル ー ト 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・美野戸口手前から若干の積雪、赤岳山荘の駐車場では10cmほどの積雪であった。 ・気温が低い日(日中でも氷点下)が続いていたため、雪はサラサラの状態、午後になっても霧氷が見られた。 ・赤岳鉱泉までチェーンスパイクを装着して歩く。雪は少しずつ増えて、赤岳鉱泉で30cmほど。鉱泉のアイスクャンデー(アイスクライミングのトレーニング用人工氷柱)は昨年と違い、見事に整えられていた。 ・翌日、行者小屋に向かう間にも積雪は増え、行者小屋では40～50cmほどに達していた。 ・雪はサラサラで、歩くとギョッキョッと音がする状態であった。 ・行者小屋から文三郎尾根を尾根に向かうも、踏み跡は明瞭、ルートは踏み固められていた。 ・登山道に設けられた階段は半分ほどが埋まっていて、踏み跡は階段を外して付けられていたので、その踏み跡を踏襲した。 ・森林限界を超えると積雪は減ったが、吹きだまりや岩の陰には相応の積雪があったものの、大方の鎖は埋もれておらず、危険箇所では利用できた。 ・積雪後に気温がプラスに転ずることがなかったため、ルート上で氷結に悩まされることはなかった。 ・岩稜帯ではさらに積雪が減り、アイゼンを岩にひっかけての登攀が続いた。 ・赤岳山頂までの風はそれほど強くなく、ほぼ10m/s以下であったと思われる。 ・山頂から赤岳展望荘に下る稜線上も積雪10cm程度で、ほんの一部に凍結箇所があったのみだが、風が少し強まった(最高で15m/sほど)。 ・地蔵の頭から地蔵尾根を下るも、森林限界より上は雪が風で飛ばされていたため、アイゼンはしっかり効いてくれた。 ・吹きだまりでもほとんどの鎖は雪上に顔を出してくれていたため、利用できた。 ・階段部分が凍結していた場合に備えて、懸垂下降できる装備を準備していったが、ロープを出す必要はなかった。 ・森林限界より下に降りると積雪は急に増え、登ってくる人にとっては難儀を強いられるルートとなっていた(雪がサラサラであるため、ステップが崩壊しやすく、蹴り込んでつま先に力をかけて登る必要があった)。 ・階段近くに吹きだまりができていたところでは、吹きだまりの急斜面を下るルートが付けられていて、尻餅をついたり足がズボッと埋まってしまう場面もあった(雪がふわふわなため、転がってもリスクはない)。 			

メモ

最高のコンディション下（快晴・微風）で、昨年のリベンジを果たすことができた。眺望も素晴らしく、文三郎尾根を登っていく際には、右手に阿弥陀岳の勇姿が、そして遠くには北アルプスや中央アルプス、南アルプスの山々が望めた。昨年に比べて気温が低く、積雪が多い状況であったが、集中力が求められる場面が続いたもの、怖いと感じるような場面はなかった。それは、またとない天候が気分を盛り立ててくれたためでもあろう。今回は2名がテント泊、2名が小屋泊であったが、それでも装備重量は平均20kgを超えていたと思われる（テント泊組の一部装備を宿泊組が赤岳鉱泉まで運搬）。下山して赤岳鉱泉に戻ると、赤岳方面への登山だけでなく、アイスクライミング講習を受ける人もかなりいて、小屋の出入りに時間がかかるほどごった返していた。諏訪の千人風呂（片倉館）で汗を流し、どんかつ丸一（どんかつ定食 1900円／かつの分厚さが2cm近い）で夕食を摂って帰宅した。



行者小屋に到着。冬の陽光を浴びた阿弥陀岳が氷結した樹林帯の向こうに白い輝きを放っている。雪は例年と比較しても多そうなので、赤岳へは文三郎尾根を登ることにする。



文三郎尾根を登っていくにつれて、阿弥陀岳の存在が際立ってくる。空には雲一つない。最高のコンディションが整えられていた。



森林限界を超えると風が強まった。とはいえ、踏み固められたルート上の雪にアイゼンはしっかりと食い込んでくれる。



岩稜帯に突入。雪は風で飛ばされてしまうため積雪量は少ない。それでも雪はゴツゴツした岩の間に入り込んで地ならししてくれたかのように歩きやすい。



岩稜帯を登ってきて振り返ると……。立場川本谷を挟んで走る、一見穏やかな阿弥陀岳の南陵とゴツゴツとした権現岳への稜線が対照的だ。遠くには、北アルプスから、中央アルプス、南アルプスまでが望めた。



赤岳山頂直下。これを登りきれば山頂は目の前だ。分厚いグローブでホールドを探しながら一步一步確実に登っていく。

赤岳山頂にて。晴天の土曜日なので、このときの山頂には10名ほどの登山者がいた。



赤岳展望荘に向けての下り。横岳の岩稜群の先には硫黄岳が望め、さらに雲海の先には北アルプスの山々が……。

赤岳展望荘から振り返る。この稜線上の風が最も強かったが、それでも風速10数m/s程度であった。ザレ場はほんの一か所のみ凍結していたが、通行に支障はなかった。



下りに利用した地藏尾根は、文三郎尾根よりも傾斜がきついものの、凍結していなければ問題はない。逆にこちらを登りで利用した人たちにとっては、ステップを切りにくいサラサラの雪質が禍し、ふくらはぎに多大な負担を強いたようだ。

運営委員会・山行部会議議事録

令和6年度 運営委員会(第11回) 議事録

令和7年1月21日(火)

1. 行事予定 (令和7年2月～令和7年4月) : 巻末に掲載

2. 各部より

《会長》 *運営委員会では、来年度の役割の打ち合わせをしました。みんなで山を楽しむために、一人一役の役割で何をするか、出来る協力を宜しくお願いします。

《副会長》 *来年度の行きたい山の希望が出されましたが、これ以外でも準定例山行を出して活発に活動して欲しい。近頃山小屋も予約制で、取れにくい事がありますので早めに計画を立てて臨んで下さい。

《総務部》 *総会議案内容の確認及び拡大運営委員会前1週間を目処に各部にて資料作成提出願います。
*対象者がいれば2月16日 AM11:00より入会説明会を実施します。
その説明会の案内をホームページに掲載してもらうことにしました。
*新リーダーオリエンテーションと新入会員オリエンテーションを3月2日総会当日の午前中、アビスタ工作室にて実施可能です。担当部より対象者に連絡願います。

《山行部》 *山行規定修正案の見直し内容説明、運営委員会にて協議し最終内容合意。
次回拡大運営委員会にて承認決議予定。

《会計部》 *特になし

《装備部》 *特になし

《会報部》 *特になし

《県連》 *3月1日(土)県連の総会は2年に1度、今年度は会計報告で議長の順番がきました。議員は議長になれないので、村越さんをお願いしました。
*3月8日(土)『ワンコイン講習会』 石田先生の『栄養学』と『筋トレ』あります。
問合せ: 女性委員会 また、秋山さんの『元気で歩くために』講習あります。
*房総ハイキング、1/25 さと海さと山: 勝浦岬巡りあります。(申込終了しています)
*ウィークデー山行、5/19『ふれあいの道14』(近くになったらお知らせします)

2月定例集会所	千葉さん	やまたん原稿 締切り	2月号	1月25日(土) 福山さん
			3月号	2月25日(火) 福山さん

村越、北田、矢野裕、郷田、室崎、白崎、矢野貞、細谷、佐藤清、武内、大畠、秋山、千葉、森岡、田嶋、小林安土田、一氏、中村八、藤家、中村育、松下、矢野朝、高橋芳、(運営委員24名)

1. 山行部より

過日の赤岳山行において、知らないとやってしまうのかなと思った行動（雪山でのマナー違反）がありました。尻滑りでトレース上のステップを崩すという行動ですが、マナー違反だとされる行動は他にもいろいろあります。ちょうどその後、YouTubeを見ていましたら、ヤマレコ社長の絶対遭難させないチャンネルが『知らないとやっしまいがち！？雪山で見かける迷惑行為について解説！』と題する動画を配信していましたので、紹介させていただきます。具体的には、①ピッケルカバーや石突きのゴムカバーを付けないままザックに外付けする、②アイゼンを付けたまま施設に入る（雪に覆われていない木道の上を歩くことも含む）、③トレースを崩す、④雪崩を誘発させる行為、⑤小屋のドアを閉めない、⑥山小屋を破壊して入る、⑦山小屋のそばでトイレをする、⑧トレース泥棒、といった行動です。気になった方はこちら↓をご覧ください。

<https://photos.app.goo.gl/Pw9FqbKa4LZbwkRw7>

(山行部長)

2. 山行計画 : 巻末に掲載

3. 教育研修

【机上研修】

日程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師	資料等
2月4日	新人	定例集会	山での怪我・事故の応急手当	外崎	
2月4日	全員	定例集会	一年を振り返って	総務部	

【実技研修】

日程	山名	対象者	研修内容	担当講師
2月9日	鹿俣山～獅子が鼻山	参加者	雪山ハイキング	千葉
2月23日	宝登山	新人	卒業山行	秋山・千葉

4. 山行報告

山名	参加者数		山行No.	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
12/20-21 (金、土) 入笠山	20		1337	外崎	矢野裕 田嶋	軽アイゼンのプラスチック部分が破損、チェーンスパイクを借りて無事歩行する。	無し
1/11 (土) 行道山	13	1	1338	鈴木利	北角	無し	天気を考慮して日程を前日に変更。スケジュールが合わずに3名欠席。
1/17-18 (金、土) 赤岳	4		1339	土田	白崎 鈴木忠	無し	無し
1/17-18 (金、土) 塔ノ岳～丹沢岳	9		1340	藤崎	藤崎 田嶋	軽度の足攣り	転倒事故、左手骨折、小屋で応急処置。翌日5名は丹沢山に向かい、4名が下山。渋沢の整形外科で治療。現在は地元の整形外科に通院。基金申請。

5. 来期希望山行について

リーダー未定の山行のリーダー調整、重複した山行の統合を行った。
その他いくつかの山行については来期、希望者に説明の上、取消しする方向で調整した。

6. 行事山行について

新人歓迎山行以降の行事について人員と日程を確認

①岳人祭

10/4（土）森岡、鈴木忠

次回の定例会で昨年同様に来期役割の希望を取りサポートを募る。

②公開登山

10/19（日）富井、北角、大賀

(リーダー) 外崎 高橋芳 大畠 武内 千葉 矢野貞 本田 矢野裕 村越 大平 北田 石塚 小島洋 小林安
佐藤清 森岡 白崎 田嶋 秋山 松下 小野 土田 一氏 吉川 小山 飯塚 富井 (進行) 鈴木忠
欠/ 藤家 新谷 蟹江 小島徹 矢野朝 細谷 北川 佐藤健 郷田 室崎

1 月教育研修

「かしわ環境ステーションの一員としての自然保護活動」 講師 小野さん

- ・自然を護る様々な活動が、市民が行政に働きかけながら行なわれているのですね。
アホウドリの話はテレビで見たことがありましたが、デコイは我孫子の方が作成されておられるとのこと知らないだけで、素晴らしい仕事をされる方が近くに居られることに感激です。
- ・沢山知る事が出来て良かったです。花の名前も中々覚えられませんが、鳥も知っているようで知らない事ばかりです。地元の生の情報を知ることは大切です。ありがとうございました。
- ・小野さんの知識と素晴らしい話術に引き込まれました。自分の住んでいる地域で、こうして活動して下さる方がいるからこそ、環境の維持や保護ができているということを知り、改めてその活動に感謝しました。
- ・小野さんの手賀沼周辺の自然保護及びそのための地域住民へのPR活動を活発に展開していることに改めて感心させられました。
- ・小野さんがボランティアをされているのはお聞きして知っていましたが、環境に関してあれだけ多岐に渡りいろいろされていたとは、と大変感心しました。コアジサシのデコイ制作時の4歳のお子さんの話には、心温まりました。毎年その活動をされていることにホントに頭が下がります。環境を守るために自分のできる範囲でやれることをと普段やっているつもりですが、できる範囲を少しでも広げて行動に移したいと思いました。ありがとうございました。
- ・忙しい中、自然保護活動委員として植物、野鳥の保護活動をされていること伺い大変ご苦労様です。その中で子供たちへの自然への導きが大変参考になりました。コアジサシの集団繁殖地へ行った事はありませんが、採食する場に遭遇した事があります。2~3m上から水面にダイブする姿は迫力がありました。
- ・専門家の視点と地域の自然保護のために尽力されている小野さんのお話しは力強いものがありました。今回は植物だけでなく鳥・虫にまで及び造詣の深さを拝聴しました。あまりに内容が豊富なので、次回はゆっくりとそれぞれの面白さ伺いたいと期待しています。
- ・普段山行を楽しんでいる私達の地続きに自然保護、保全に取り組んでいる方々がいることに改めて思いを馳せることができました。ありがとうございました。
- ・小野さんからは、山行や自然観察の度に多くのお花の名前や植物の生態について教えていただいています。今回はさらに鳥やチョウについても教わりました。大堀川や手賀沼の畔を歩いていると、よくカワセミをみかけますが、雌雄の違いはわかりませんでした。今度見かけた時はもっとじっくり観察したいと思います。庭のホトトギスに花芽が付き、楽しみにしていると一晩でとげとげの昆虫に葉が食い尽くされました。これまではこの虫を見つけ次第排除していましたが、あんな素敵なチョウになるとは。これからは少しは残しておきます。小野さんいつもいつも「自然」の楽しみ方を教えていただきありがとうございます。
- ・「コアジサシ」の生態を興味深く拝聴しました。千葉市の鳥に指定されている事、絶滅危惧種にある事など認識を新たにしました。身近なところで、地道な自然保護活動をされている事に敬意を払います。
- ・以前はよく手賀の森公園に行っていました。日頃は、何も意識せず自然の恩恵を享受しております。その自然を守るために、地道な活動の必要性和活動の有効性を感じました。山道を歩いている様です。



- ・自然保護活動、小野さんは植物と思っていましたが、鳥に関する活動にもボランティア精神で参加されているのですね。自然は、私たちには潤いです。守っていく事が困難だけど大切なのですね。今回の研修で、ボランティア活動の感心と感謝を感じました。自然が大好きなので興味深くのめり込んで聞き入りました。たくさんの資料をありがとうございました。
- ・小野さんには山でも研修でもお花のお勉強をさせて頂いていますが、今回は地元の動植物の調査の一端を知ることができて良かったです。一つのプロジェクトに反対するにも、地道な調査による実態把握があつてこそなのですね。貴重なお話をありがとうございました。
- ・身近にある植物、蝶、鳥の話を興味深く伺うことができました。我が家にも葉っぱを食べにイモムシが来て家庭菜園がけっこうやられます。捕まえて成虫になるのを見る話は面白いと思いました。また、身近なところに貴重な鳥類や植物が生息しますが、普段の生活の中では、なかなか目を向けられていません。研修を通じて少し自然環境に触れることができました。ありがとうございました。
- ・小野さんの自然保護活動のお話を、大変興味深く伺いました。色々な分野で自然保護活動やフィールドワークを実践していらっしゃることは日頃のお話からおおよそ想像はしていましたが、引き受けている委員のことを具体的に伺い、なんと有意義な！と驚きました。岳人あびこでも定期的に「どんぐり散歩」や「クリーンハイク」など実施してくださっていますが、色々な分野でもその役を担っていらっしゃる。だから何とご多忙な！と驚き、にもかかわらず自然保護に尽力していることに感謝しました。今回、手賀の丘の問題点を俯瞰的に示してくださったのはとても良かったです。手賀の丘が古墳の宝庫だったとは。商業化を目指す業者導入による「開発計画」と「自然保護」がせめぎあい、何度も話し合いがもたれたとのこと。貴重な文化遺産と植物エリアが潰される問題を「見える化」してくださったので、自分のこととして考えるきっかけになりました。コアジサシの模型のお話も面白かったです。模型作成の依頼からイベント実施など、辛抱強い活動があつての「生物多様性」の実現が可能なのだと改めて思いました。貴重なお話を有難うございました。
- ・小野さんの活動を、いつも敬意をもって聞かせていただいています。押しつけるのではなく、淡々と生き物たちへの愛をもって活動されている。今回初めて環境ステーションのHPも見てみました。最後に話されていたヒョウモンチョウもルリタテハも美しく育ててみたいけど、スマレの花が一鉢丸坊主、ホトトギスも丸坊主は、悲しすぎてできないかなと思いました。
- ・小野さんの環境ステーションでの活動の話、興味深かったです。自宅に戻ってからホームページを開いてみました。自然保護に関する取り組み、イベントがいろいろ紹介されていて感心しました。機会があつたら、参加したいと思いました。
- ・自然を愛する者として…植物だけで無く鳥や動物にもとても興味が有りますので今回のお話はとても面白かったです。是非自然保護活動のお手伝いに参加したいと思えます。

個人山行報告

個人山行報告		手賀沼一周		リーダー:高橋芳 グレード:1A
月 日	2025年1月5日(日) 日帰り			
山 域	我孫子・柏	日の出日の入りなど		
目 的	ゆるゆる歩きを楽しむ 手賀沼といえども侮るなかれ			
費 用	0円	交通機関	各自宅から水の館駐車場	
行 程	水の館駐車場 8:00/05 ⇒フィッシングセンター⇒沼南道の駅 10:30/11:00⇒北千葉導水路⇒ふるさと公園⇒北柏ふるさと公園⇒手賀沼公園 13:30⇒あびこん 14:15 (反省会) <div style="text-align: right;">< 歩行時間: 5時間 ></div>			
ル ー ト 状 況	手賀沼遊歩道を歩く			
参加者	大山・高橋英・箕輪完・郷田・北田・大平・藤家・佐藤健・室崎・斎田・外崎・中村八・倉本・相見・石塚・小島洋・一氏・斉藤冬・箕輪カ・村越・高橋芳 <div style="text-align: center;">男 9 名、女 12 名 計 21 名</div>			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・一周でも半周でも、どこからでも、どこで抜けてでも OK です。と思いつきの企画で個人ウォーキングを募集したところ 23 名もの皆さんが参加に応じてくださったのは思いかけないことでした。(2名は都合で欠席) ・一人だったらハーフでやめてしまうところ、皆さんで楽しくおしゃべりしながらのウォークはあつという間とはいいがたいものがありました、普段十分お話ししていない方とも和やかに時を過ごすことができました。 ・当日は小春日和のあたたかな日で沼南道の駅で思い思いのお弁当を食べました。私はご当地名物カブのサンドイッチがとても美味しく気に入りました。 ・今まで気が付かなかった碑文にはこの地の殿様坂巻何某と対する相手の殿さまが田んぼの中で一騎打ちをしたとの説明があり、元会員の坂巻氏のご先祖様だったことを知りました。皆さん様に「さすがに坂巻さんは風貌からも殿様だったよねー」と納得しました。 ・北柏ふるさと公園からは最短の道路沿いを歩きましたが、船戸の森周辺に立ち寄ればさらに興味深かったと思います。 ・手賀沼公園からの遊歩道は最後の力を振り絞り、ついに出発点に戻ることができました。 <p>距離約 20km、所要時間(行動時間) 6時間 10分、歩行時間 5時間、歩数約 33,000 歩、完歩者 15 名、正月 5 日の歩き始めの個人ウォーキングでした。</p> <p>山の猛者の大山さんも手賀沼を歩いたのは初めてとか、英さんも足の痛みを乗り越えました。改めて手賀沼はふるさとの宝だと思いました。今年は何良いことがありそうな年の初めでした。</p>			
				

行事予定と山行計画

1. 行事予定 (令和7年2月～4月)

	月	日	行事	場所	備考
当会	2月	4(火)	定例会	我孫子北近隣センター 並木本館	19:00～20:50
		16(日)	入会説明会 拡大運営委員会+山行部会	湖北台近隣センター	11:00～12:00 13:00～17:00
	3月	2(日)	総会 第一回定例会	アビスタ ミニホール	13:30～17:00
		18(火)	運営委員会+山行部会	市民プラザ	19:00～21:00
	4月	1(火)	定例会	我孫子北近隣センター 並木本館	19:00～20:50
		15(火)	運営委員会+山行部会	市民プラザ	19:00～21:00
県連					

2. 山行計画

日程	分	山名	山域	L/企画者	G	備考(目的)
2/7～2/8 (金～土)	定	縞枯山～茶臼岳	八ヶ岳	村越	2B	雪の八ヶ岳を歩く 【募集済み】
2/9(日)	定	鹿俣山～獅子ヶ鼻山	上越	千葉	2C	雪山ハイキング 【募集済み】
2/23(日)	定	宝登山	奥武蔵	篠塚	1A	新人卒業研修 【募集済み】
3/23(日)	仮定	谷川岳山麓 (マチガ沢)	谷川岳	白崎	1C	雪山でのアイゼンワーク、ピッケルワークとロープでの確保訓練
4/6(日)	仮定	雪入山	筑波山域	秋山 小島徹	1A	新人歓迎会
4/11～4/12 (金～土)	仮定	箱根峠	箱根	矢野朝	1A	東海道箱根峠を越え、昔を偲ぶ 【募集済み】

3. 山行報告書の提出先: gaku.abi01@gmail.com (会報部メールアドレス)